保健連絡員活動のこれまでのあゆみ

昭和６０年　保健連絡員活動を開始

自分や家族、地域の健康に関心を持ち、健康に関する様々な問題に対応できる地域づくりの担い手としてスタート。

平成１４年　赤ちゃん訪問開始

少子高齢社会を迎え、高齢者の健康づくりだけでなく、子育て中の母子にも目を向け、地域での子育て支援など、幅広く活躍。

平成２３年　保健連絡員延べ人数　５０００人に達する

令和６年　　赤ちゃん訪問終了

全家庭への助産師訪問に統合される。

令和７年　　保健連絡員活動体制の見直し

時代の流れに合った保健連絡員活動の在り方を検討。

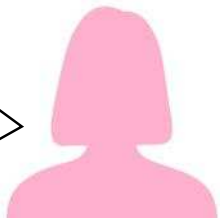
令和８年度　新しい体制での保健連絡員活動がスタート

保健連絡員延べ人数　８６２３人（令和８年3月現在）

歴代保健連絡員の声

みんなで集めた情報を模造紙にまとめ、そのまま地域イベントに活用できたことで、学んだ内容が地域へちゃんと広がっていることを実感できました。

保健連絡員活動を通して学んだ健康の知識を家族や友達に少しずつ話し、自分でも実践することで、日常に生かしています。



困りごとを話してくれた人に耳を傾け、保健センターで専門職に相談できることを伝えて、相談を勧めました。